

「地域の期待を担う学校」を目指して

校長 中村 太一

5月31日(金)、諫早市のトランスコスモススタジアム長崎において、令和元年度の県高校総体総合開会式が開催され、本校の陸上競技部12名の選手諸君が、息の合った行進を披露してくれました。競技においては、陸上、ソフトテニス、バスケットボールの各競技に44名の選手が出場、またメディア研究部の3名が開会式や各競技での本校生徒の活躍する姿を記録にとどめてくれました。今年度の在籍生徒数は60名ですので、実に全校の8割近い生徒が高総体に出場・参加したことになります。残念ながら、今年度は上位大会などへの出場を果たすことはできませんでしたが、日頃の練習の成果を十分に発揮してくれた結果だったと思います。

6月19日(水)、20名を超える委員の皆様のお出でをいただき、「令和元年度豊玉高等学校支援会議」を本校会議室にて開催いたしました。豊玉高校支援会議は、「学校・家庭・地域が一体となって、本校のよりよい教育の実現と発展のために活動を推進すること」を目的に、地域の皆様の主導のもと、平成24年に発足しました。当日は1時間の会議の後、仁位生活館に場所を移しての懇親会を実施しました。

会議や懇親会の中で、出席の皆様からは学校行事の在り方や将来の豊玉高校を目指す学校像等、多くの貴重なご意見をいただきました。そのご意見からは、日頃から本校生徒を厳しくも温かく見守るとともに、学校の教育活動に支援を惜しまない地域の皆様の熱い思いを感じ、校長として感謝の念にたえません。

今後とも、地域の皆様には、本校生徒を厳しくも温かく見守っていただくとともに、朝夕の登下校時や校外での活動の際など、様々な場面で本校生徒にお声かけいただければ幸いです。生徒は、自分達が地域の皆様に見守られている、愛されている、期待をされているということを感じることで、更にふるさとへの愛着や関心を深めていくものと思います。

私共教職員一同、地域の皆様の心強い応援を背に、生徒が充実した学校生活を送り、その進路実現が果たせるよう、指導に力を尽くしてまいります。今後とも本校への変わらぬご支援をお願いいたします。



高総体壮行式には保護者の皆様においしいカレーとからあげを提供していただき
生徒たちは高総体へ向けての英気を養いました

[高総体5月31日～3日]

5月31日(金)に総合開会式がトランスコスモススタジアム長崎(諫早市)で開催され、参加生徒は少人数ながらも堂々とした行進をしました。また、翌日の6月1日からは会場ごとに競技が行われました。



—高総体の主な結果—

- ・男子ソフトテニス部 団体戦：1回戦敗退
- ・女子ソフトテニス部 団体戦：1回戦敗退 個人戦：古藤・阿比留ペアベスト64
- ・男子バスケットボール部 1回戦敗退
- ・女子バスケットボール部 2回戦敗退

[進路相談会 6月12日]

進学・就職の希望に沿って学校及び企業ごとのブースに分かれ、説明を受けました。生徒達は真剣に話を聞きながら、自身の将来について考えを深めました。



～7月行事予定～



3日	マナー講話、生徒会役員退任・任命式
10日	夏の交通安全県民運動
17日	自殺予防講話
19日	終業式、防犯・情報モラル講話
22日～26日	夏期集中講座 1、3学年三者面談週間
23日～26日	2学年インターンシップ
29日～8月2日	夏期補習、2学年三者面談

[生徒会役員改選 6月13日]

対馬市から投票箱と記載台をお借りして、実際の選挙に近い形で実施しました。候補者及び応援者の演説から投票にいたるまで、厳粛な雰囲気での改選になりました。

